

2016年7月16日 先天性心疾患患者様向けセミナー報告

2016年7月16日に先天性心疾患患者様・ご家族様向けセミナーが埼玉医科大学総合医療センター5階大講堂にて、埼玉医科大学総合医療センター小児循環器外来主催の基、開催されました。第一部は参加者への講義、第二部は患者様を含めてのパネルディスカッション、の二部制、下記スケジュールにて行われました。セミナーの参加者は、先天性心疾患患者様またはその家族の、院外医療関係者の計112名でした。

タイムスケジュール

14時30分	開会の辞	先崎秀明教授
14時35分	心臓の基礎・心不全って何？	梶濱あや医師
14時45分	フォンタン循環の基礎	栗嶋クララ医師
14時55分	日常(家庭・学校)生活について	築明子医師
15時05分	心理サポートについて	宮本孝子心理士
15時15分	社会支援について	大津幸枝看護師
15時25分	患者としての体験・経験談	横田桃子さん
15時35分	パネルディスカッション	増谷聡准教授、石戸博隆講師、大津幸枝看護師、宮本孝子心理士、横田桃子さん
16時30分	閉会の辞	岩本洋一助教



開催前

第一部の一人目の講演者は、榊原記念病院循環器小児科の梶濱あや先生で、わざわざ東京都から来ていただきました。梶濱先生には、「心臓の基礎・心不全って何？」というテーマで、お話をさせて頂きました。二人目の講演者は当院非常勤医師の栗嶋クララ医師で、「フォンタン循環の基礎」というテーマをお話し頂きました。当院非常勤医師の築明子医師か

らは、「日常(家庭・学校)生活について」というテーマでお話し頂きました。また、医師からの講義はここまでで、ここからはコメディカルによる講義です。当院宮本孝子心理士から、「心理サポートについて」というテーマでお話し頂きました。当院の大津幸枝看護師からは、「社会支援について」のテーマでお話しされました。15～18歳(自治体により異なる)から乳幼児医療費助成制度が消失するため、医療費の自己負担が発生し高額になります。この場合の医療費支援制度について話され、閉会后参加者からも「大変参考になった」とのお声を聞くことが出来ました。



栗嶋クララ医師の講義



当院大津看護師の講義

第二部の初めは、当院に通院されている患者さんである横田桃子さんから、「患者としての体験・経験談」をお話し頂きました。両親に対するこれまでの思いや感謝の気持ちを述べられ、参加者の涙を誘っておりました。また、就学や就労に関する自身の体験談、周囲に理解してもらうことの重要性について話され、参加者からも終了後のアンケートでは

「(心臓の病気を持つ) わが子の将来の姿が想像できるようになった」「前向きに考えられるようになった」等と、多大なる反響がありました。第二部後半は、当科の増谷聡准教授、石戸博隆講師、大津幸枝看護師、宮本孝子心理士、横田桃子さんをパネリストとして迎え、パネルディスカッションが行われました。



横田桃子さんのお話し



パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、セミナーの事前アンケートから得られた回答を用いて、セッションが進められました。「学校の入学前に行くこと」「入学後に苦労したこと」などのテーマで活発な議論が参加者・パネリスト含めてなされました。また、横田さんとは別の成人されている患者さんから自身の体験談のお話しも続き、閉会となりました。

この度は、ご多用な中ご来場頂きました参加者の皆様、そして貴重なお話しを頂きました横田桃子さんに厚く御礼申し上げます。終了後のアンケートでは、参加者から「また参加したい」という感想を多くいただきました。来年度もこのようなセミナーを開催致しま

すので、またご参加頂ければと思います。

※横田桃子さんの氏名・写真の掲載におきましては、ご本人様より許諾を得ております。

平成 28 年 9 月 13 日
埼玉医科大学総合医療センター
小児循環器科
文責 岩本 洋一